

17

ナルニア国物語 2

ライオンと魔女と衣装だんす

C・S・ルイス

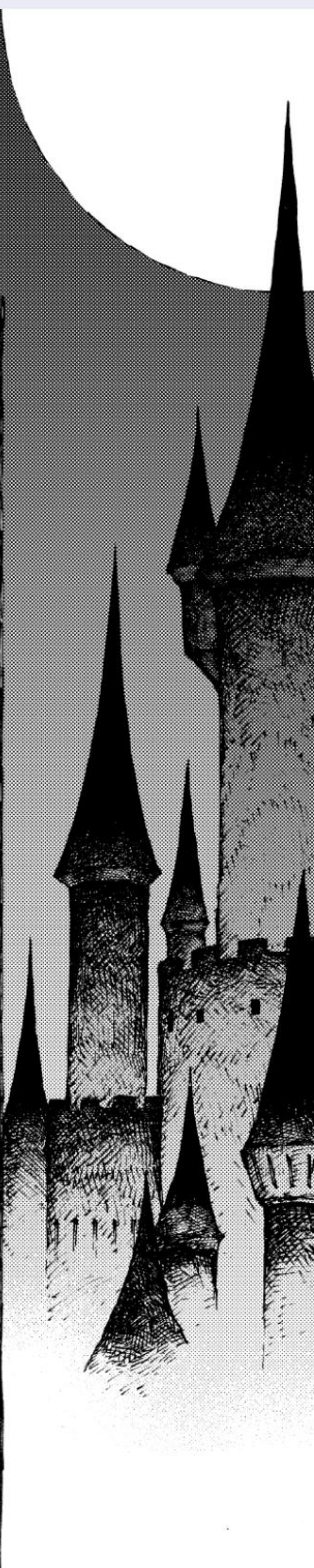
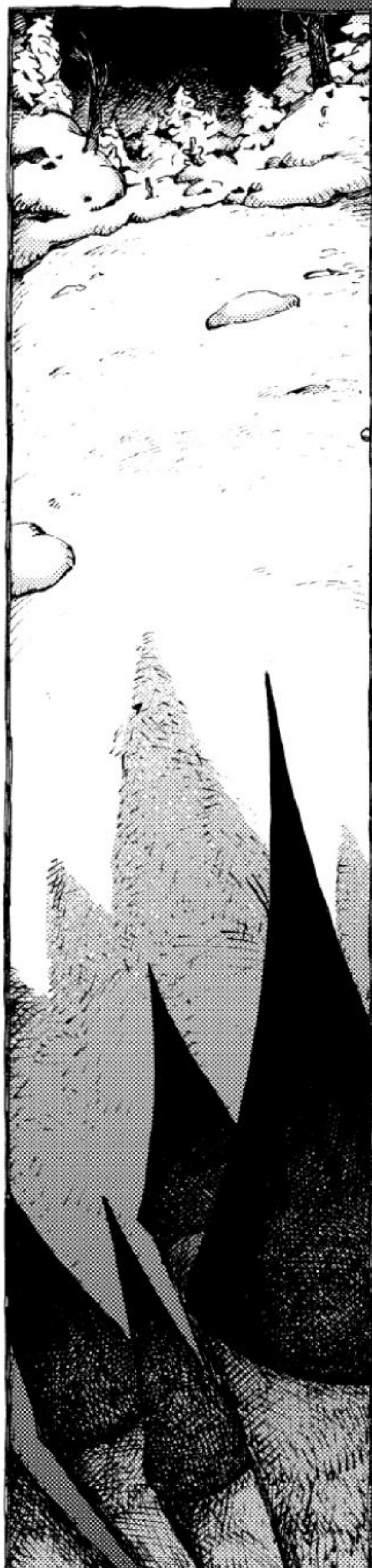
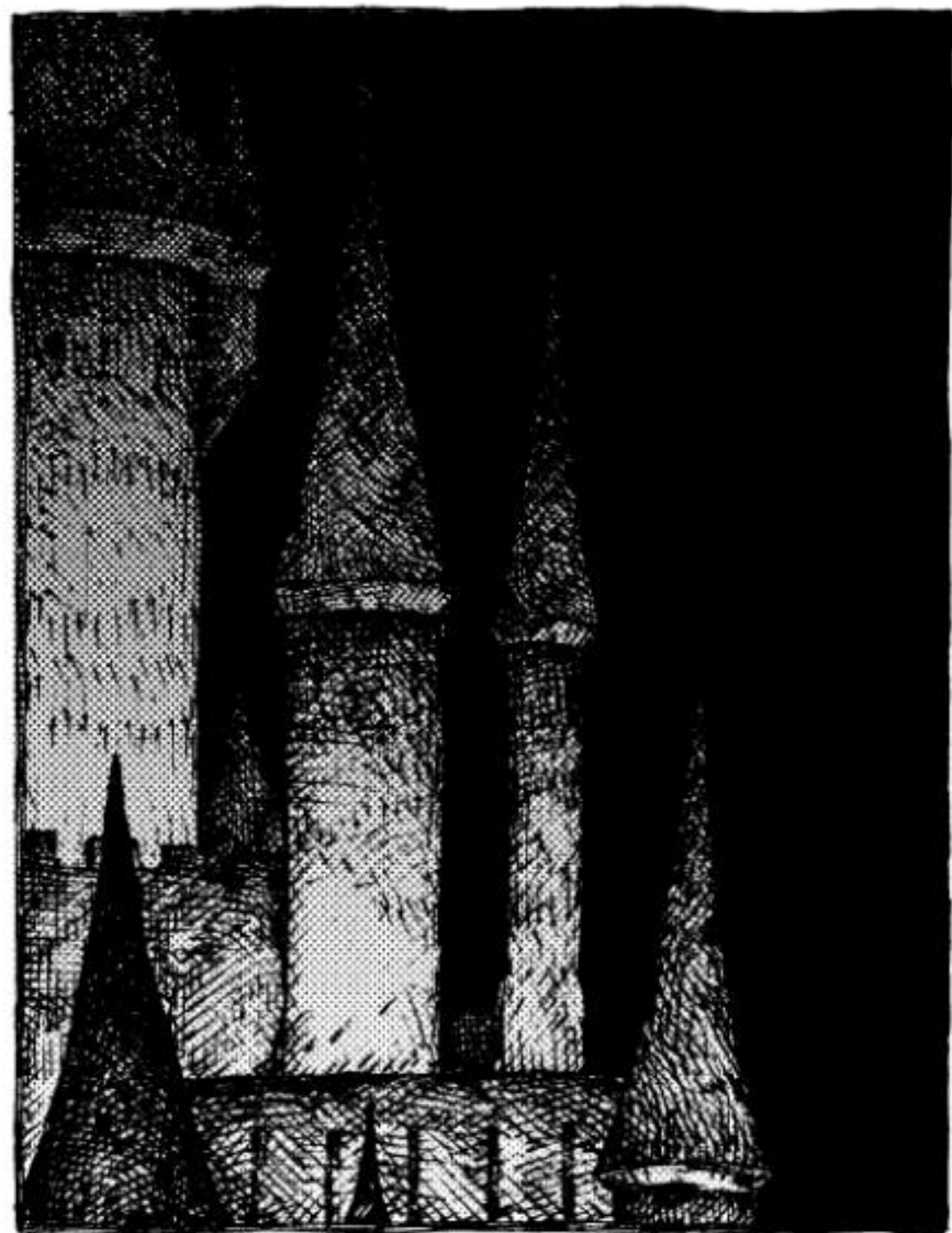
土屋京子・訳

玉樹庵・画

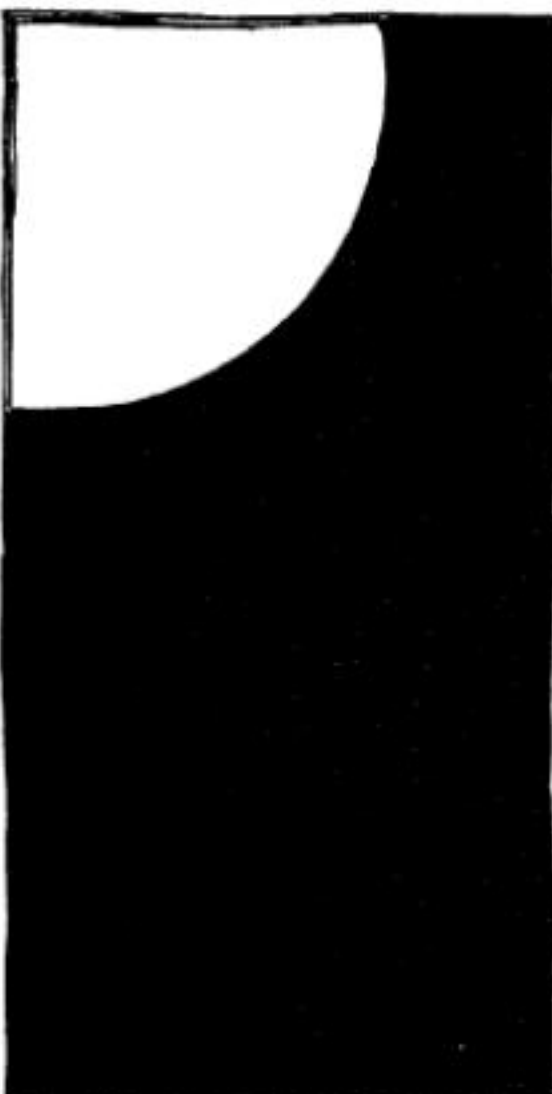
(光文社古典新訳文庫刊)

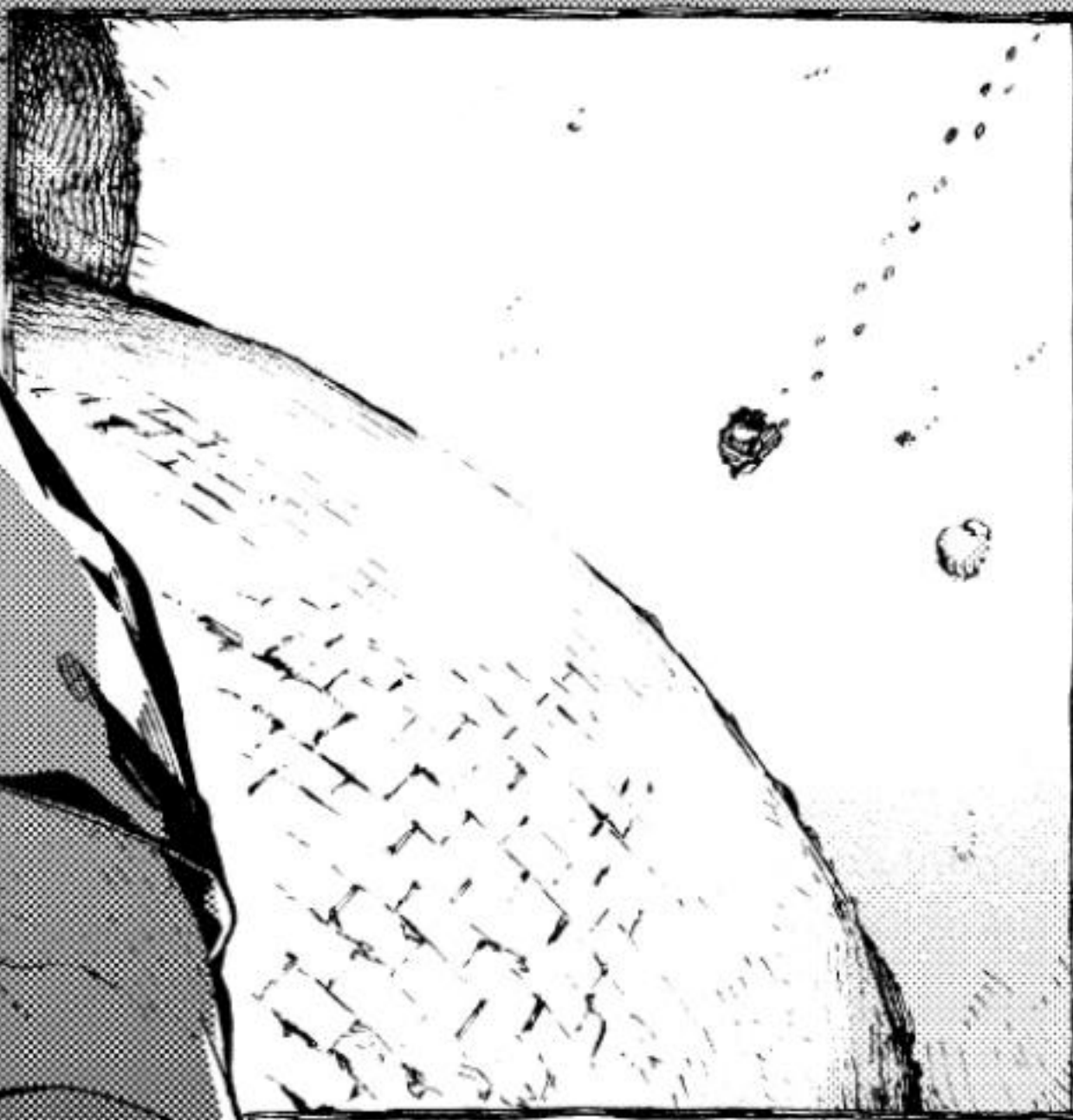
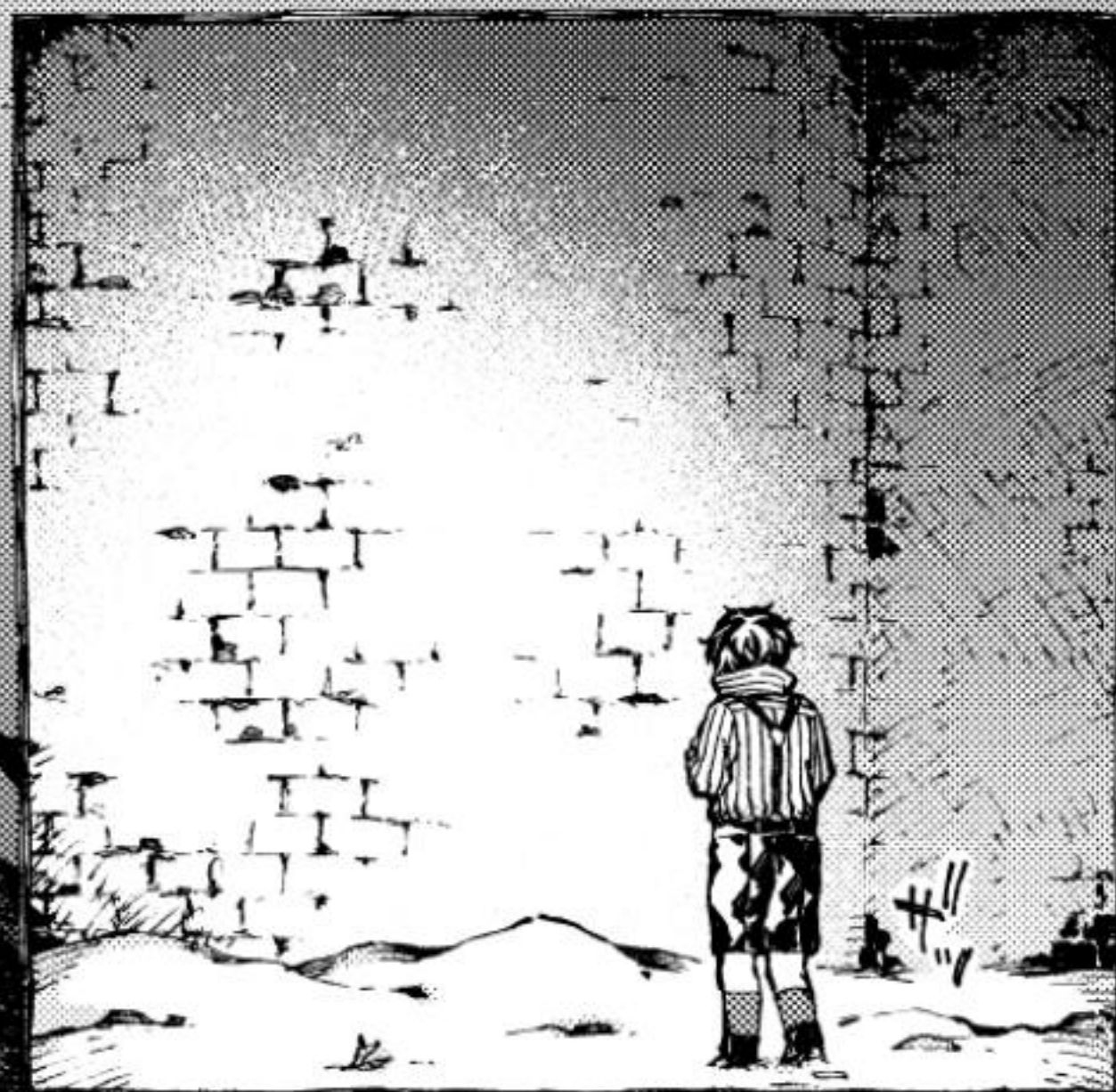
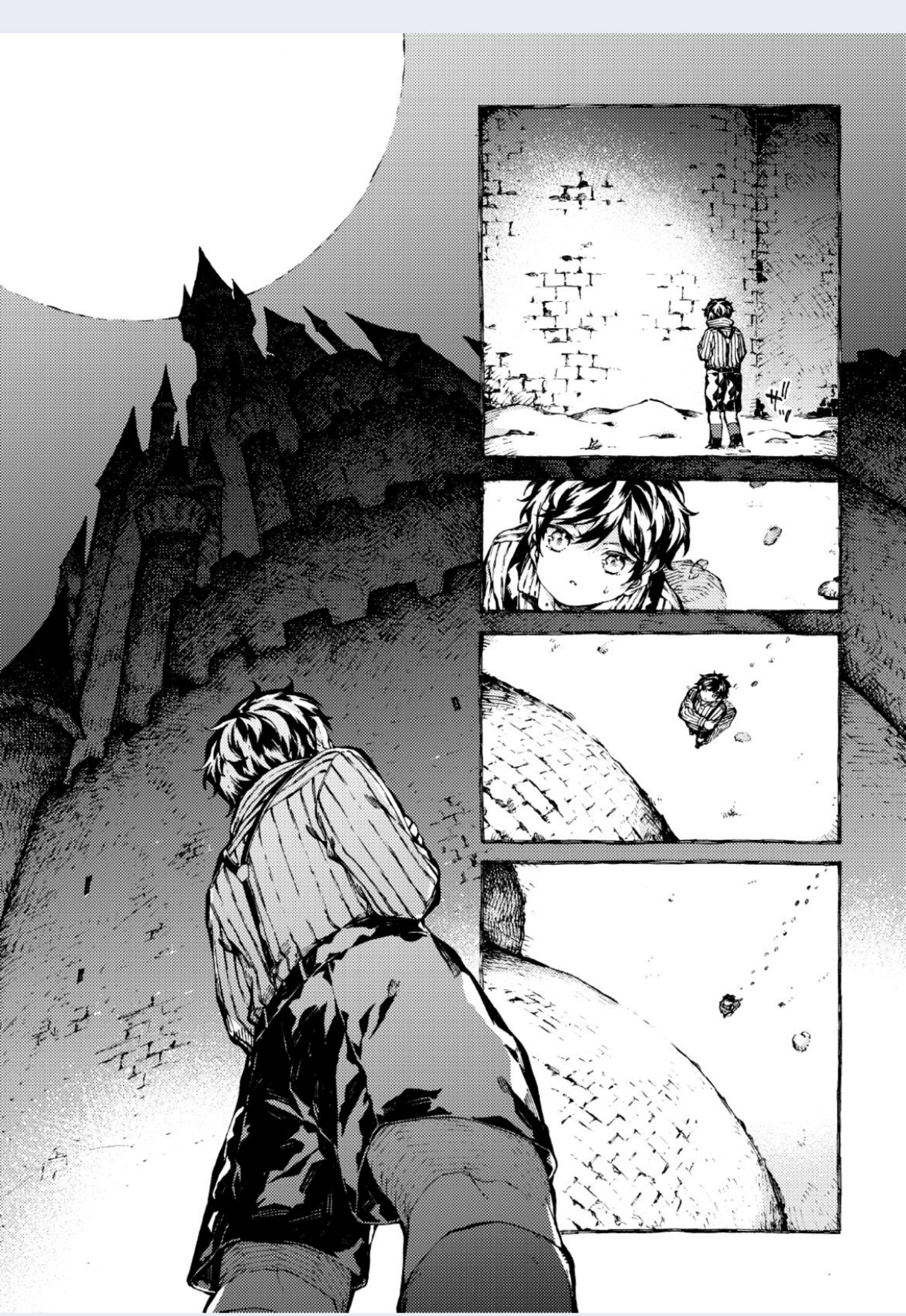
第17話 魔女の館(後編)

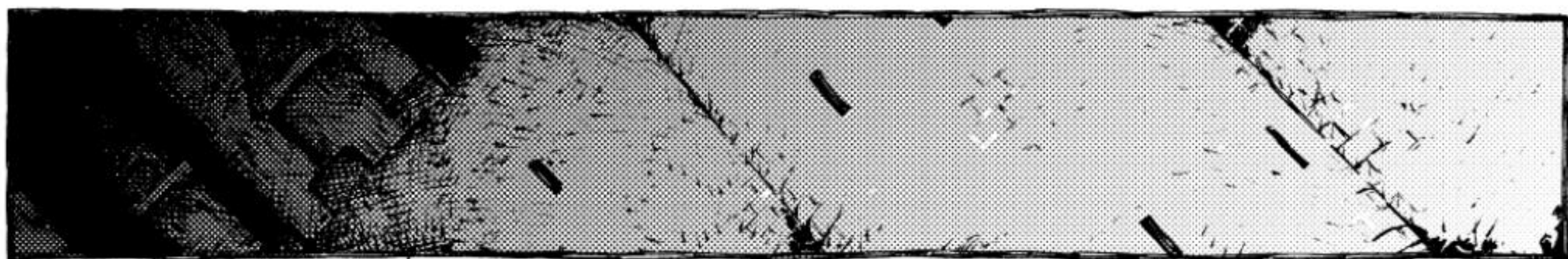


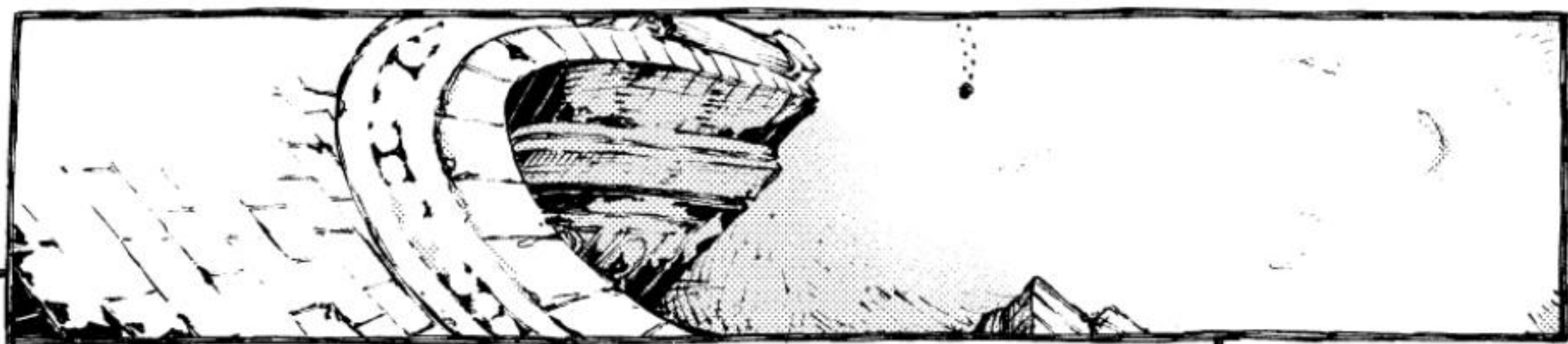


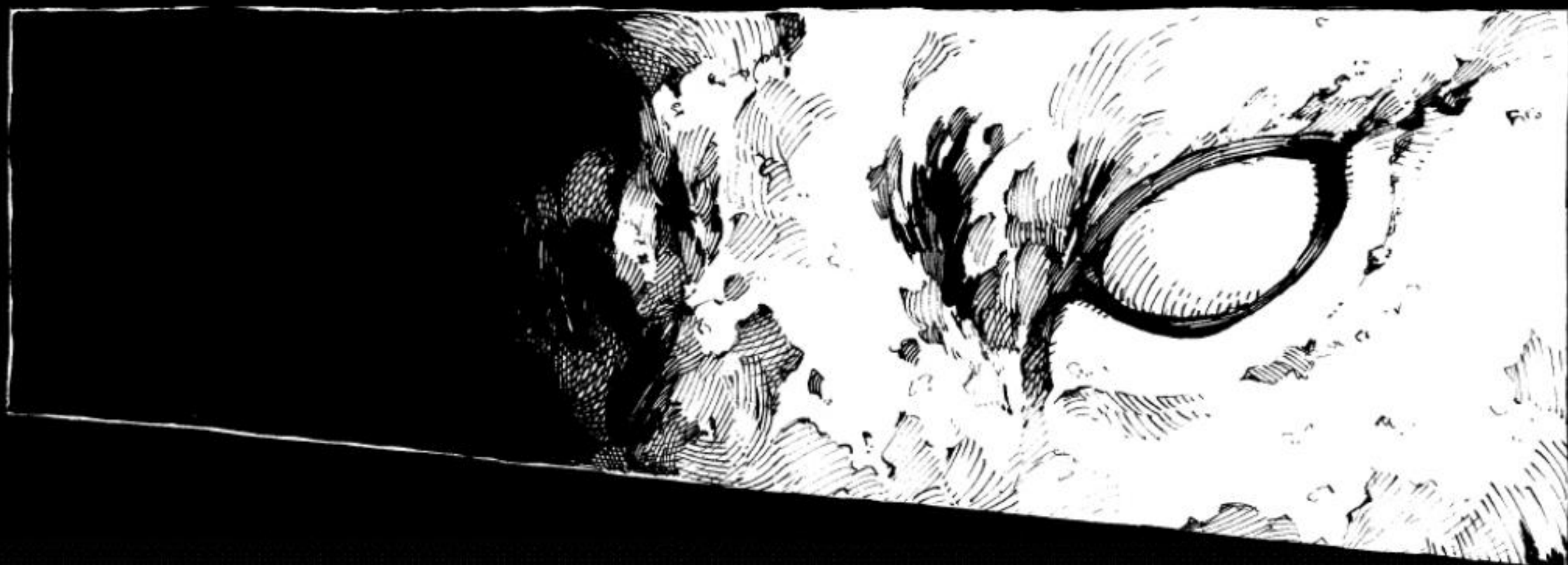


















.....
ライオンは

なぜ
いつまでも
動かずに
いるのだろう？







…そうだ！



ドワーフに
とびかかろうと
しているのか



ライオンが
ドワーフに
とびかかった
瞬間が

逃げる
チャンスだ！

——みんな
石にされて
しまうのです

…たぶん

これは
ただの石の
ライオンなのだ

ライオンの
背中と頭に雪が
積もっている――

なんだ

こんなの石像に
きまつてるじゃ
ないか！

生きている
動物ならば

雪を
かぶったままで
いるはずがない





たぶん

これがみんなの話してた
偉大なるライオンの
アスランってやつに
ちがいない

魔女がもう
アスランを
つかまえて

石に
しちゃったんだ

偉そうなこと
言って

このさまか

へん！

アスラン
なんて

誰が
怖がるものか！

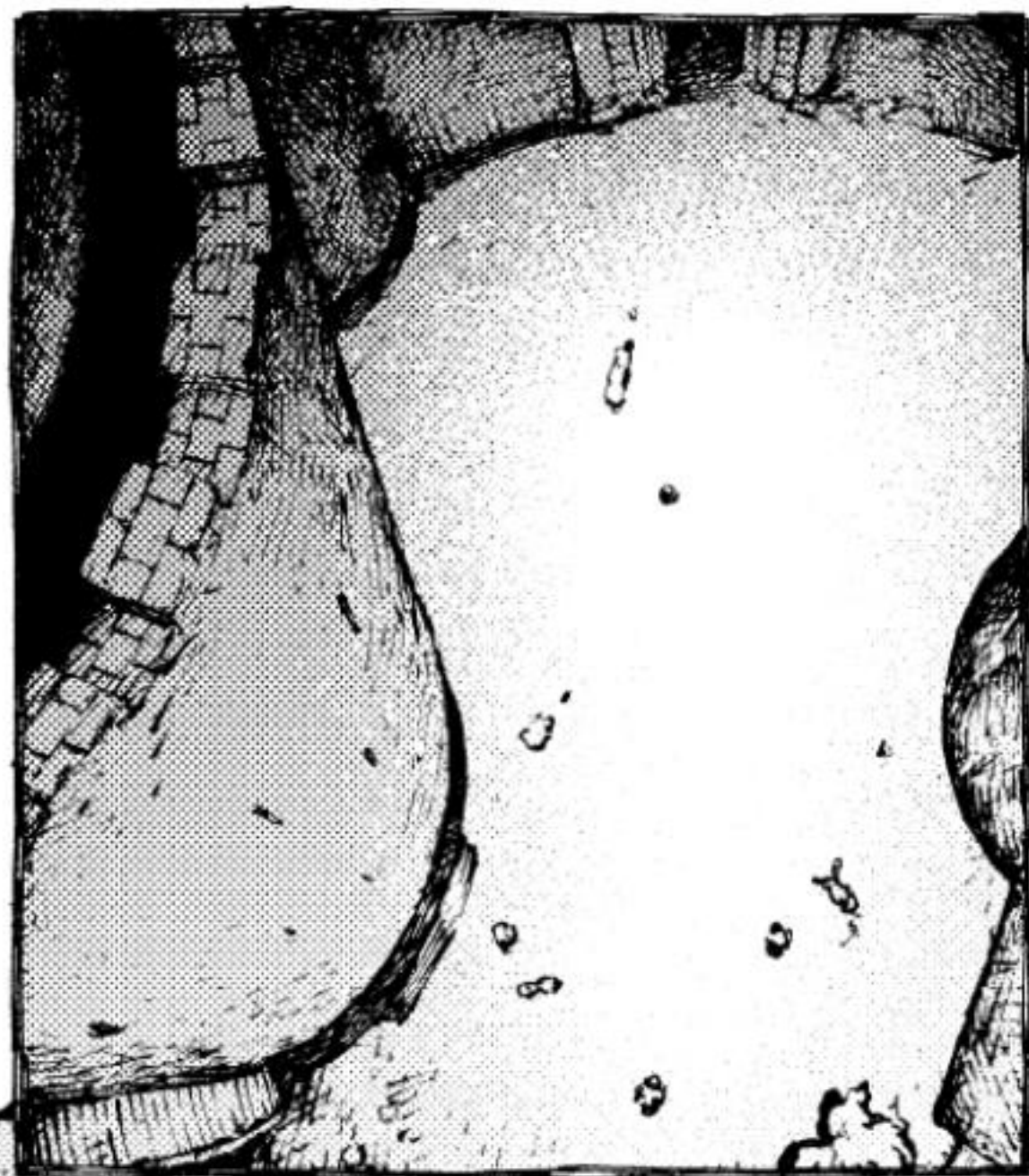


王様が聞いて
あきれるぜ！



石にされて
うれしいか？

やーい
アスランの
馬鹿！













何者だ？

何者だ？



ぼくは
エドマンドと
申します

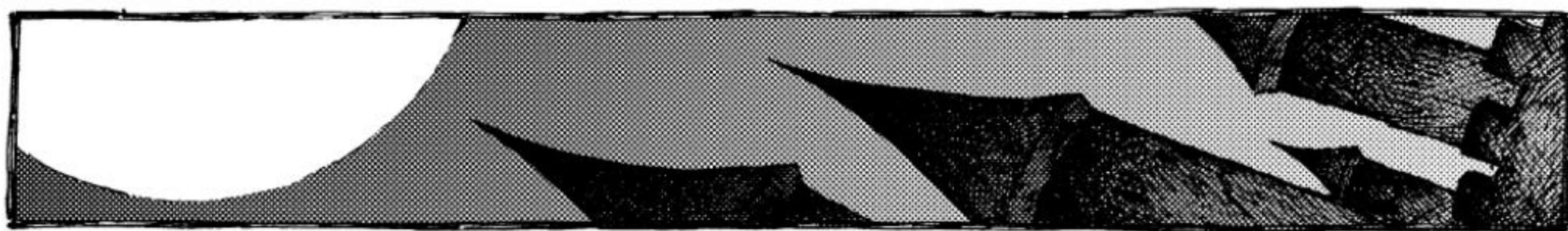


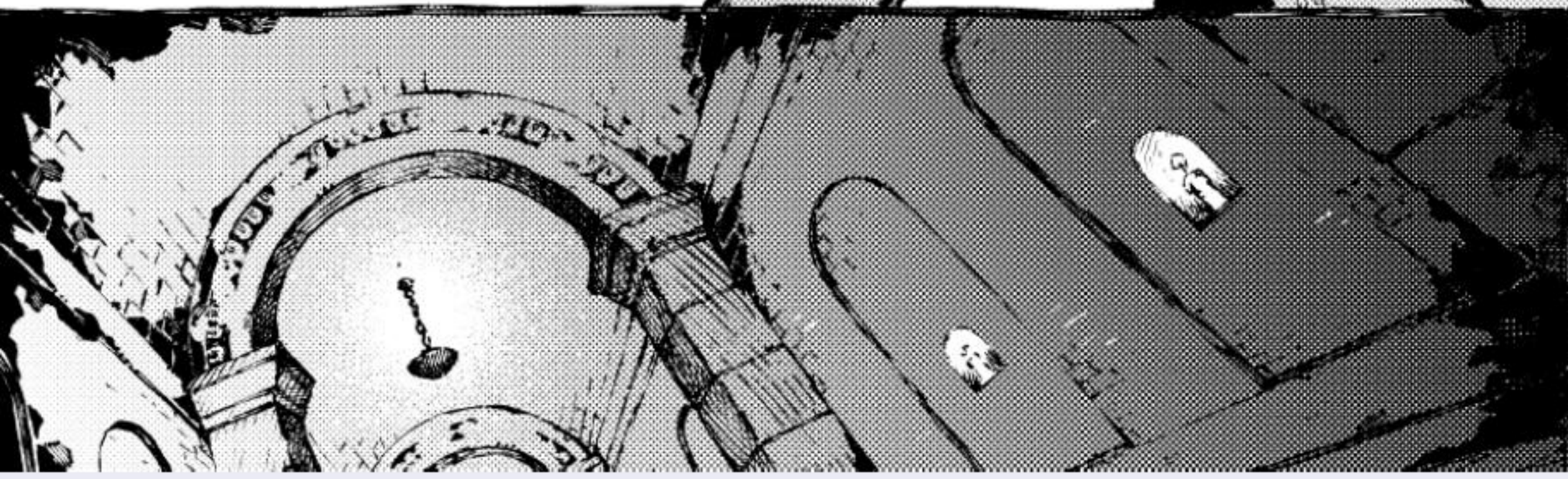
動くな

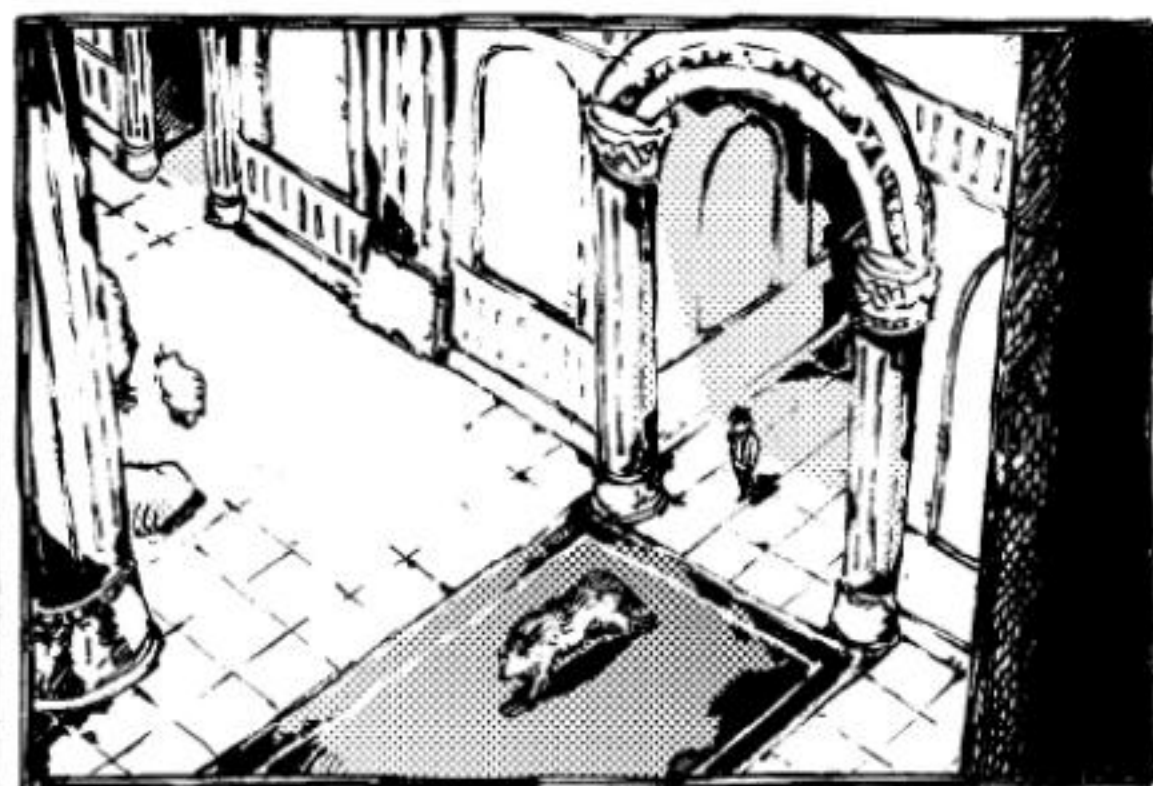
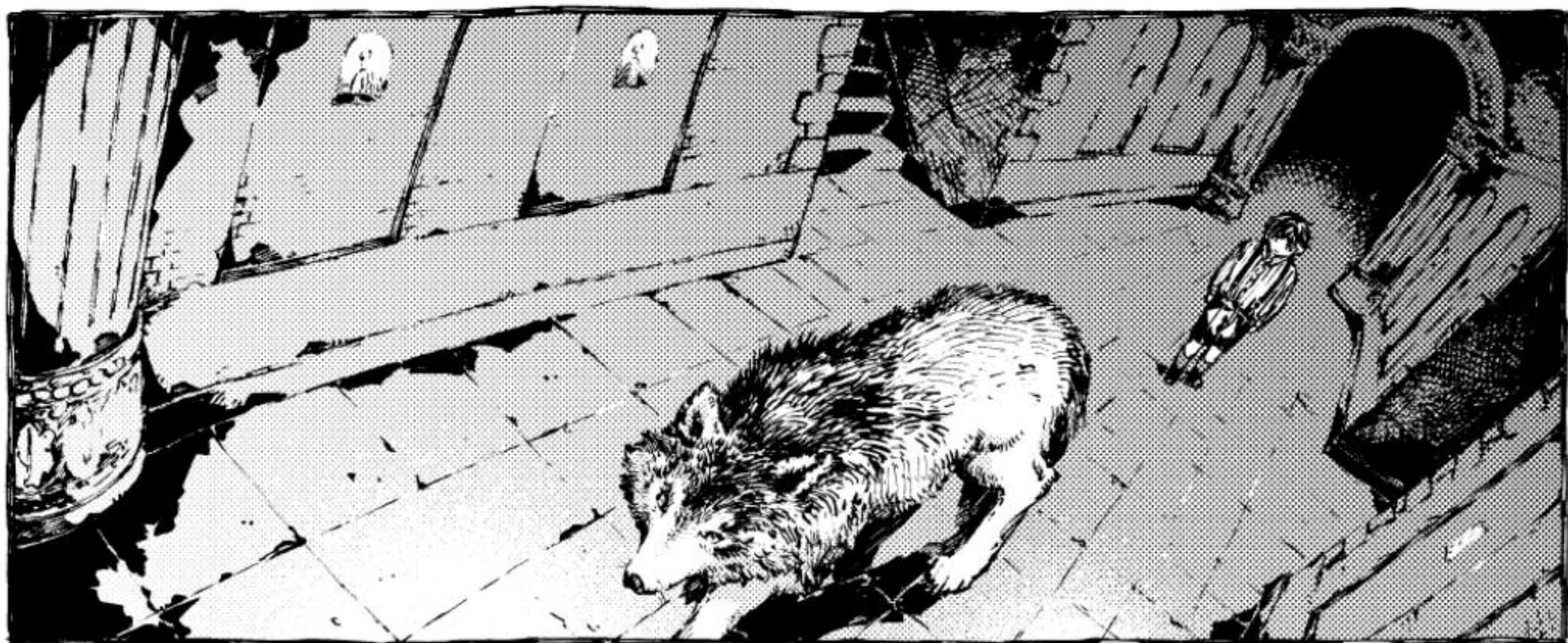
名を
名乗れ

すみません

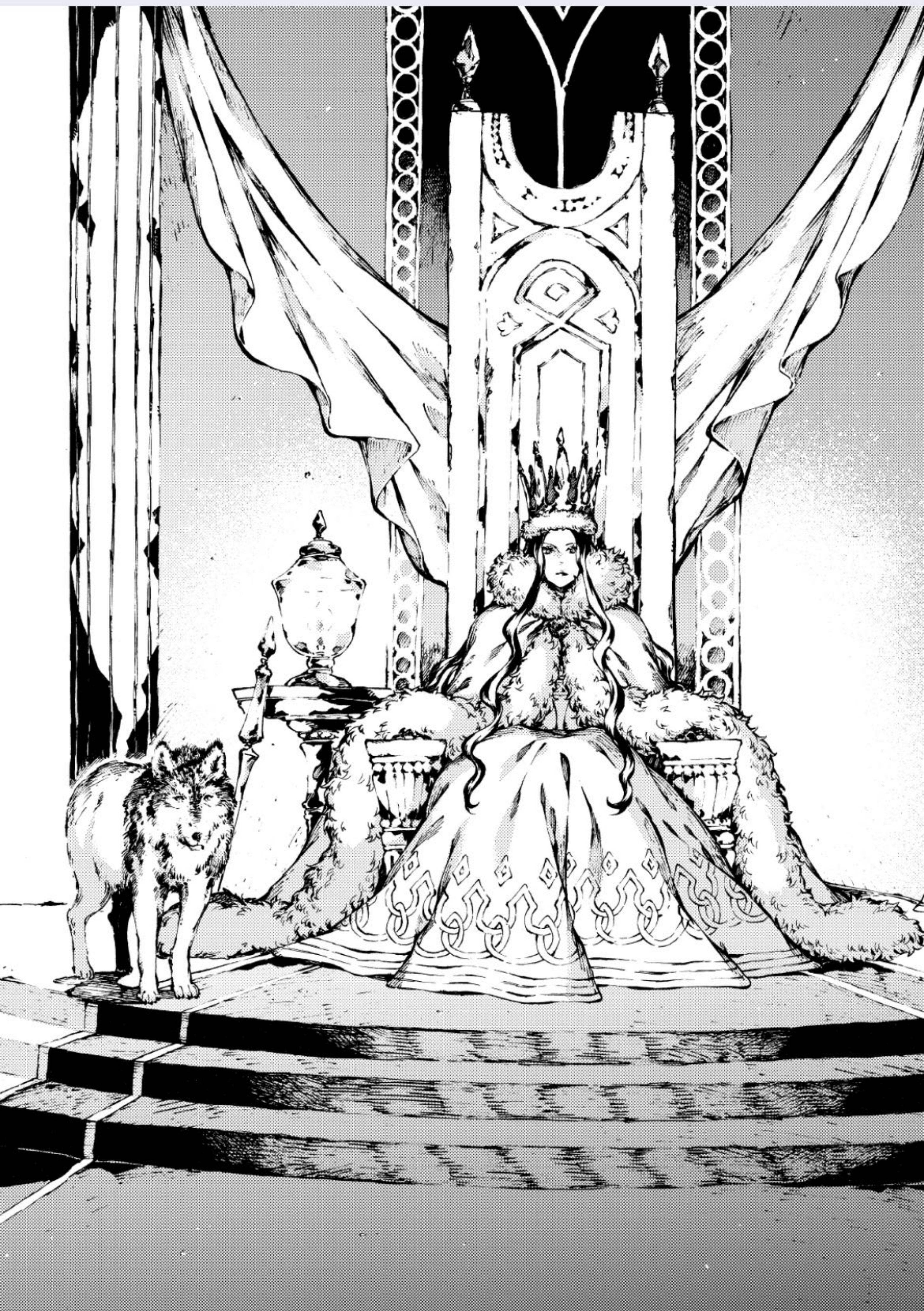














参上
いたしました

陛下

なぜ一人で
来たのじゃ？

きょうだいを
連れてこいと
言っただろう

すみません
陛下

できるだけ
ことは
したのですが…

すぐ近くまでは
連れてきました

きょうだい
たちは

川をちよつと
さかのぼったところの
ダムの上にある
小さな家にいます



ビーバー夫妻の
ところでは

おまえが
持ってきた
知らせとは

それだけか

いいえ

陛下

実は――



何！

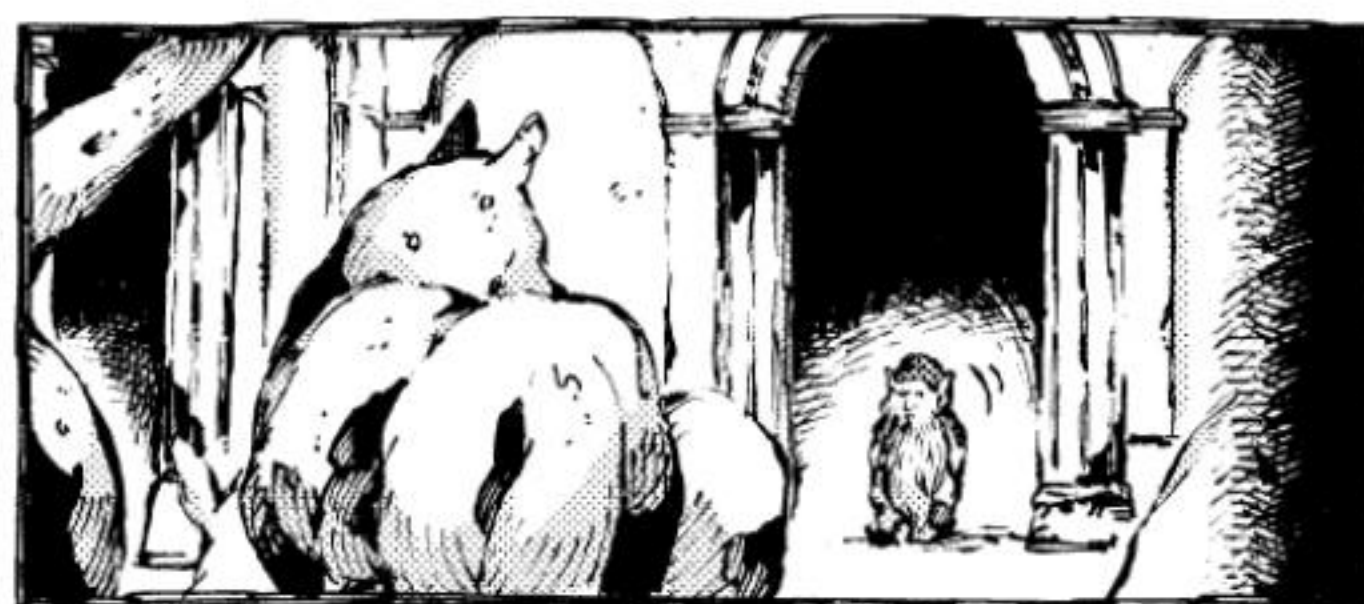
アスラン
だと？

アスラン！

それは

まことか？

いつわり
申したと
あらば――





よいか

ハーネスは
鈴のついて
いないものを
使うのだぞ

つづく